

令和6年度全国学力・学習状況調査結果分析と改善方策（宇佐市）

平均正答率（％） ※大分県・全国は公立の平均正答率。

【小学校】

小学校 6 年生		
	国語	算数
宇佐市	71.0	65.0
大分県（公立）	69.0	63.0
全国（公立）	67.7	63.4

【中学校】

	国語	数学
宇佐市	56.0	48.0
大分県（公立）	58.0	50.0
全国（公立）	58.1	52.5

小学校 国語

	全体	学習指導要領の内容				
		言葉の特徴や 使い方に関する 事項	情報の扱い方 に関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
宇佐市	71.0	66.8	86.3	66.2	71.8	74.1
大分県	69.0	65.7	87.6	60.6	70.4	73.8
全国	67.7	64.4	86.9	59.8	68.4	70.7

○教科全体は、全国値を上回っている。

○内容別で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は、全国値を上回っている。

○「書くこと」に関して、物語文を読んで心に残ったこととその理由を書く設問での正答率が高く、無回答率が全国値を4ポイント以上下回っていた。

△内容別で、「情報の扱い方に関する事項」は、全国値をやや下回っている。

△**大問1二(1)** 「話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができるかをみる」【言葉の特徴や使い方に関する事項】(知識・技能)は全国値をやや下回っている。

△**大問2一(2)** 「情報や語句の関係付けの仕方に関する理解をみる」【情報の扱い方に関する事項】(知識・技能)は全国値をやや下回っている。

△**大問2三ア** 「漢字を文の中で正しく使うことができるかをみる」【言葉の特徴や使い方に関する事項】(知識・技能)は全国値を下回ってはいないが、無回答率が全国値を上回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問1二(1) オンライン交流の場面で、話し方を変えた理由を選択する問題

- ・話し言葉と書き言葉の違いに気付くことに課題がある。

大問2一(2) [メモ]の書き表し方の説明として適切なものを選択する問題

- ・情報と情報の関連付けの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、活用することに課題がある。

大問2三ア 下線部のひらがな(きょうぎ)を漢字(競技)に書き直す問題

- ・学年別配当漢字表に示されている漢字を文の中で、正しく使えていないことに課題がある。



○主語・述語の関係を明確にした話し方や書き方のよさに慣れさせることが重要。

- ・言葉の使い方(文法事項)についての習熟を図る。

○図や思考ツールの思考方法を明確にすることが重要。

- ・目的や意図に応じて、集めた材料(情報)を分類したり関係付けたりして、伝える内容を検討する学習場面を設け、図や思考ツールを使い慣れさせる。

○漢字の書き取り練習だけでなく、漢字の意味や文章中での使い方にも関連させながら、学習していくことが重要。

- ・漢字クイズやICT教材を活用、読書活動の充実を進める。

小学校 算数

	全体	学習指導要領の領域			
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用
宇佐市	65.0	68.7	68.2	50.9	63.2
大分県	63.0	66.0	66.8	48.3	61.9
全国	63.4	66.0	66.3	51.7	61.8

○教科全体は、全国値を上回っている。

○領域別で、「数と計算」、「図形」「データの活用」は、全国値を上回っている。

△領域別で「変化と関係」は、全国値をやや下回っている。

○大問1(1) 「問題場面の数量の関係を捉え、式に表す」【数と計算】(知識・技能)は、全国値を上回っている。

△大問4(3) 「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する」【変化と関係】(思考・判断・表現)は全国値を下回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問4(3) 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについてどちらが速いかを判断し、そのわけを書く問題

- ・数や式、言葉をつかって速さを表し、説明することに課題がある。



○道のりと時間が比例関係にあることに着目して、速さなどの単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解できるようにすることが重要。

- ・道のりと時間と速さを図に表し、速さの意味を理解する。
- ・言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて自分の考えを持ち、筋道立てて説明する場面を設定する。

中学校 国語

	全体	学習指導要領の内容					
		言葉の特徴 や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	我が国の言 語文化に関 する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
宇佐市	56.0	55.4	57.7	76.6	56.6	64.1	44.5
大分県	58.0	58.8	57.8	80.3	58.3	63.4	47.5
全 国	58.1	59.2	59.6	75.6	58.8	65.3	47.9

△教科全体は、全国値を下回っている。

○内容別で「我が国の言語文化に関する事項」は、全国値を上回っている。

△内容別の「言葉の特徴や使いに関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は、全国値を下回っている。

○**大問4三** 「行書の特徴を理解する」【我が国の言語文化に関する事項】（知識・技能）は、全国値を上回っている。

△**大問1四** 「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめる」【話すこと・聞くこと】（思考・判断・表現）は、全国値を下回っている。

△**大問2四** 「目的に応じて必要な情報に着目して要約する」【読むこと】（思考・判断・表現）は、全国値を下回っている。

△**大問3三** 「文脈に即して漢字を正しく書く」【言葉の特徴や使いに関する事項】（知識・技能）は、全国値を下回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問1四 話し合いの話題や発言を踏まえ、条件に沿って自分の考えを書く問題。

- ・自分の立場を持ち、他者との発言を参考にしながら自分の考えを構築することに課題がある。

大問2四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題。

- ・文章の中心的な部分と付加的な部分や、事実と意見との関係などを正確に捉えること、文章全体において中心となる内容を把握することに課題がある。

大問3三 (1) 下線部のひらがな（君はみちたりた表情をしていた）を漢字に書き直す問題

- ・文脈に即した漢字を正しく使えていないことに課題がある。



○何についてどのような目的で話し合っているかを意識させ、自分と他者の発言や他者同士の発言を結び付けたりして、自分の考えをまとめることが重要。

- ・説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動を多く仕組み、「自分ならどうするのか」といった立場を明確にさせながら指導していく。

○文章の構造を踏まえて、キーワードやキーセンテンスなどに留意して情報を整理し、正確に要旨を捉えられるようにすることが重要。

- ・書かれている事実と書き手の意見との関係性を視覚化したり、指示する語句や接続する語句が、話や文章の中でどのような役割を果たしているのかを考える活動を多く仕組んだりしていく。

○漢字の意味や文章中での使い方にも関連させながら、学習していくことが重要。

- ・漢字クイズに取り組んだり、ICT教材を活用して学習を進めたりする。また、長期記憶につなげるために、読書活動の充実も考えられる。

中学校 数学

	全体	学習指導要領の領域			
		数と式	図形	関数	データの活用
宇佐市	48.0	44.8	33.9	58.2	52.6
大分県	50.0	49.4	36.5	59.5	52.8
全 国	52.5	51.1	40.3	60.7	55.5

△教科全体は、全国値を下回っている。

△領域別では、すべてにおいて全国値を下回っている。

△大問1(1) 「文字を用いた式で表す」【数と式】(知識・技能)は、全国値を大きく下回っている。

△大問6(2) 「目的に応じて式を変形し事柄が成り立つ理由を説明する」【数と式】(思考・判断・表現)は、全国値を下回っている。

△大問9(1) 「道筋を立てて考え、証明する」【図形】(思考・判断・表現)は、全国値を大きく下回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問1(1) 連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表す問題。

- ・数の規則性を文字式に表すことに課題がある。

大問6(2) 正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの証明を完成する問題。

- ・計算式のための記述で、根拠を説明することができていない。

大問9(1) 正三角形の合同をもとに証明する問題。

- ・正三角形の合同条件について記述しているが、根拠が抜けるなど、表現が十分でない。



- ・文字式の表し方について再度振り返るとともに、学習した内容を定着させるための工夫を行う。
- ・証明を書くこととともに証明を読むことの活動も同時に仕組んでいく。
- ・証明に用いた前提や証明の根拠を明らかにしながら、結論を整理するなどして、証明を振り返る活動も充実させていく。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

【小学校 児童質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)

番号	質問	宇佐市	全国	県	全国との差
1	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.1	82.9	84.4	3.2
2	5年生までの学習の中でPC/タブレットなどのICT機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができる。	91.1	86.0	90.6	5.1
3	国語の勉強は好きですか。	65.7	62.0	65.1	3.7
4	国語の授業の内容はよくわかりますか。	89.7	86.3	88.6	3.4
5	算数の授業の内容はよくわかりますか。	85.1	82.1	83.3	3.0
6	英語の勉強は好きですか。	73.6	69.3	70.3	4.3
7	英語の授業の内容はよくわかりますか。	84.4	78.3	78.7	6.1

「基本的生活習慣」「学習に対する興味・関心」などで肯定的な回答が多かった。

▲全国を3ポイント以上下回る項目 ※数値は肯定値(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)

番号	質問	宇佐市	全国	県	全国との差
1	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。（3時間以上の割合）	35.6	30.3	30.7	5.3
2	自分にはよいところがあると思いますか。	80.8	84.1	85.1	3.3
3	学校の授業以外に普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいに時間、勉強をしますか。（塾等含む2時間以上）	16.1	23.5	20.5	7.4
4	5年生までに受けた授業で、PC/タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。（週3回以上）	50.5	59.5	56.8	9.0
5	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表しましたか。	62.5	67.6	62.2	5.1
6	授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	87.5	91.6	92.0	4.1
7	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	73.8	81.3	78.6	7.5
8	理科の勉強は好きですか。	79.3	83.6	83.7	4.3
9	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。	80.8	85.6	85.1	4.8

「メディアの長時間使用」の傾向が見られる。「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組」に関する項目で全国平均を下回る傾向となった。

【中学校 生徒質問紙 結果】

数値は肯定値(当てはまる+どちらかといえば当てはまる)

番号	質問	宇佐市	全国	県	全国との差
1	毎日同じくらいの時刻に寝ていますか	84.6	80.7	82.3	3.9
2	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。	82.2	76.7	80.4	5.5
3	1, 2年生の時に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	72.9	69.1	70.6	3.8
4	1, 2年生のときの学習の中で PC/タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなる)	92.6	86.2	91.5	6.4
5	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれると思いますか。	89.7	84.9	88.1	4.8
6	国語の勉強は好きですか。	72.4	64.3	70.2	8.1
7	数学の勉強は好きですか。	62.1	57.4	57.2	4.7
8	数学の勉強は大切だと思いますか。	91.9	87.2	89.1	4.7
9	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	82.0	78.5	81.2	3.5

「基本的生活習慣」「学習に対する興味・関心」などで肯定的な回答が多かった。

▲全国を3ポイント以上下回る項目

番号	質問	宇佐市	全国	県	全国との差
1	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。(3時間以上の割合)	35.0	29.0	25.2	6.0
2	将来の夢や目標を持っていますか。	59.7	66.3	67.1	6.6
3	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	75.8	79.7	79.5	3.9
4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	62.7	69.2	67.4	6.5
5	1, 2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	52.8	64.8	58.4	12.0
6	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	74.4	80.3	80.3	5.9
7	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	73.4	82.2	83.58	8.8
8	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。	64.5	71.5	71.7	7.0

「メディアの長時間使用」の傾向が見られる。「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組」に関する項目で全国平均を下回る傾向となった。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（小・中学校質問紙）

調査結果の概要（肯定的回答が特に多かった項目…○ 少なかった項目…△）

- 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行っている。
- 教育課程表（全体計画や年間指導計画）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している。
- 指導計画の作成に当たっては、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている。
- 授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている。
- 児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している。
- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている。
- 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業で活用している。
- 自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業で使用している。
- 児童生徒がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業で使用している。
- SCやSSWによる教育相談に関して、児童・生徒がいつでも相談できる体制ができている。
- ICTを活用した校務の効率化に取り組んでいる。
- △一日あたりのテレビゲームやスマートフォンなどメディアの利用時間に関する項目で長時間使用の傾向が見られた。

学校質問紙調査の結果をふまえて（今後の課題）

- ◇各学校において、学校教育目標達成に向けて学力や生活についての課題を共有し、組織的な取組が行われている。今後も校長のリーダーシップのもと、教育課程の計画・実施・評価・改善を図っていく。
- ◇授業研究等や事例研究など、実践的な研修が行われている。今後も授業流れシートを活用した授業展開の推進を図っていく。